

本技術士会は、平成21年12月の設立以降、8年6ヶ月余りの活動を継続し、今年で9回目の総会を迎えることができました。現在会員数は161名であり、技術士試験受験への支援を実施し、毎年、コンスタントに合格者を輩出しており、設立以降、30名を超える技術士が誕生しています。母校への支援として「技術者キャリア形成」等の懇談会を実施し、次世代を担う技術者への支援活動を行っています。今年は24名の会員に出席していただき、総会を無事に終えることができましたので報告いたします。

1. 総会 (at 中央電気倶楽部 215 号室)

第8期(2017. 4. 1～2018. 3. 31)事業報告

決算報告および監査報告

第9期事業計画(案)および予算(案)

第9期役員人事

以上、4 議題のご審議をいただき、出席者全員のご賛同を得、無事終えることができました。

本年度も引き続き昨年度からの幹事及び監事が責務を果たし、当会の事業活動に取り組んでいきます。また、会員相互の交流の一環として、会報誌を年1回発刊予定です。



2. 特別講演 (at 中央電気倶楽部 215 号室)

今年は講師の方々より、貴重な御講話を頂きました。

I. 「ICT が進める建設現場の生産性革命」

東急建設(株)土木事業本部 事業総括部

小島 文寛 様

糸田川 由美 様



小島講師

渋谷再開発の多くの工事に携わっている実績から、再開発の概要や渋谷の将来像とともに、プロジェクトで活用されている ICT、3 次元モデルのメリットを生かす BIM/CIM の取組など最新技術による生産性革命についてご紹介を頂きました。



糸田川講師

Ⅱ. 「歴史都市防災への取り組み」



大窪教授

立命館大学工学部都市システム工学科

教授 大窪健之 様

世界文化遺産にも登録される清水寺と、これを取り巻く日本を代表する歴史地区などを対象として、近年の火災対策プロジェクトについてご紹介を頂きました。

3. 懇親会

同会場にて懇親会が開かれました。本技術士会を通じて知り合った方々、世代を越えたOBやOGは、仕事や学生時代の話などで大いに満喫されました。技術士としての結束を固め、本会の発展を願って一本締めで幕を閉じました。



=以上=